

# 全国学力・学習状況調査について

## 1 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人一人が、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2 調査実施日

平成29年4月18日（火）

## 3 調査の対象

甲運小学校 第6学年  
実施児童数（58人）

## 4 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査を実施する。

### (3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査を実施する。

全国学力・学習状況調査の結果につきましては、山梨県教育委員会の分析にもあるように、正答率の±5%の範囲にある場合は、山梨県平均および全国平均とほぼ同等と考えています。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1 全体の傾向

「A 区分問題」

・国語 A では、山梨県平均・全国平均よりやや下回っている。

「B 区分問題」

・国語 B では、山梨県平均・全国平均とほぼ同等である。

2 学力状況調査より

| 国語 A   | 特徴が見られた設問  |  |
|--|--|--|
| <p><b>【話すこと・聞くこと】</b><br/>『互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う。』の正答率が全国平均より高い。</p> <p><b>【書くこと】</b><br/>『目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く』の正答率は全国平均より高いが、『手紙の構成を理解し、後付けを書く』の正答率は全国平均より低い。</p> | <p><b>【読むこと】</b><br/>『目的に応じて、文章の仲から必要な情報を見つけて読む』ことや、『俳句の情景を捉える』の正答率が全国平均より低い。</p> <p><b>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</b><br/>『古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読む』事や、『ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる』ことはできているが、『漢字を正しく読んだり書いたりする』ことは全国平均を大きく下回っている。また、向井倒立も全国平均の3倍以上と高くなっている。</p> |  |

| 国語 B  | 特徴が見られた設問  |  |
|---|--|--|
| <p><b>【話すこと・聞くこと】</b><br/>どの設問においても全国平均を上回っているか、同等である。</p> <p><b>【書くこと】</b><br/>『目的や意図に応じて、文章全体の構成を考え』たり、『必要な内容を整理して書く』ことは全</p> | <p><b>【読むこと】</b><br/>どの設問においても、全国平均を大きく下回っている。</p> |  |

国平均を上回ってよくできているが、『引用して書く』事は全国平均を下回っている。

### 3 学習状況調査より

| 質 問 事 項  | 本校   | 全国   | 10 %○<br>5 %◇ | 差    |
|--|------|------|---------------|------|
| 国語の勉強は好きですか  | 55.1 | 62.6 | ◆             | -7.5 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか  | 94.8 | 93.0 |               | 1.4  |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか  | 81.1 | 85.1 |               | -4   |
| 読書は好きですか   | 84.4 | 77.1 | ◇             | 7.3  |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか                                  | 93.1 | 90.1 |               | 3.0  |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか                              | 79.4 | 72.8 | ◇             | 6.6  |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか                           | 74.1 | 69.6 |               | 4.5  |
| 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか                            | 84.5 | 74.8 | ◇             | 9.7  |
| 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか                           |      |      |               |      |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか<br>（「最後まで解答を書こうと努力した」の割合） | 79.3 | 77.2 |               | 2.1  |

- 「国語の勉強は嫌い」だが、「国語は大切」だと考えている子どもが多い。また、「授業の内容が理解できていない」児童も見られるので、低学年の段階から分かりやすい授業を心がけ、苦手意識を持たせないような手立てが必要だと考えられる。
- 「読書が好き」な児童が全国平均と比べてかなり高くなっている。しかし、「読むことに関する問題」の正答率が低いので、読書が好きなことを国語の読むことに生かしていく必要があると考えられる。
- 「自分の意見を資料を基にうまく伝わるように書こうと工夫している」児童が多いことから、「話すこと聞くことに関する問題」の正答率が全国平均を上回っている。本校の授業において話し合い活動を推進していることが解答に生かされていると考えられる。
- 「目的に応じて資料を読み、自分の考えを書こうとしている」児童は多いが、「資料を引用して書くこと」ができていない傾向にあるので、資料をしっかりと読み取る指導が必要である。
- 全体的に自分の考えを書くことにあまり抵抗を持っていないように感じられる。日常的に自分の考えや気持ちを表現する活動を取り入れていることの成果だと考えられる。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1 全体の傾向

「A 区分問題」

・算数 A では、山梨県平均・全国平均より下回っている。

「B 区分問題」

・算数 B では、山梨県平均とほぼ同等だが、全国平均よりやや下回っている。

2 学力状況調査より

| 算数 A   | 特徴が見られた設問   |  |
|--|---|--|
| <p><b>【数と計算】</b><br/>「加法と除法の混合計算」や「わり算を分数で表す」「2 つの数の最小公倍数を求める」ことは全国平均より低く、課題がある。</p> | <p><b>【数量関係】</b><br/>「二次元表の読み取りや分類整理」や「未知の数量を表す□を用いた立式」において全国平均を下回っており、課題がある。</p> |  |

| 算数 B  | 特徴が見られた設問   |  |
|---|---|--|
| <p><b>【数と計算】</b><br/>「示された資料から、必要な数値を選びその求め方を記述する」事は全国平均よりも高かった。<br/>「示された方法を問題場面に適用する」事は全国平均よりも低かった。</p> <p><b>【量と測定】</b><br/>「飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断すること」や「仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述する」事は全国平均よりも低かった。</p> | <p><b>【数量関係】</b><br/>「示された式の中の数の意味を表と関連づけながら正しく解釈し、それを記述する」事や「示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断する」事は全国平均よりも低い。</p> |  |

### 3 学習状況調査より

| 質 問 事 項  | 本校   | 全国   | 10%○<br>5%◇ | 差 |
|--|------|------|-------------|---|
| 算数の勉強は好きですか  | 51.7 | 66.0 | -14.3       |   |
| 算数の勉強は大切だと思いますか  | 94.8 | 92.0 | 2.8         |   |
| 算数の授業の内容はよく分かりますか  | 72.4 | 80.6 | -8.2        |   |
| 算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか   | 74.2 | 75.7 | -1.5        |   |
| 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか   | 92.0 | 81.2 | 10.8        |   |
| 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか  | 60.4 | 69.1 | -9.3        |   |
| 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか   | 91.3 | 89.1 | 2.2         |   |
| 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか  | 77.3 | 81.4 | -4.1        |   |
| 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか   | 81.1 | 82.6 | -1.5        |   |
| 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか   | 86.2 | 86.0 | 0.2         |   |
| 今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか<br>（「最後まで解答を書こうと努力した」の割合） | 96.6 | 97.0 | -0.4        |   |

- 「算数の勉強は嫌い」だが、「算数は大切」「算数は将来役に立つ」と考えている子どもが多い。また、「授業の内容が理解できていない」児童も多く見られるので、低学年の段階からスモールステップなどを取り入れるなど、分かりやすい授業を心がけ、苦手意識を持たせないような手立てが必要だと考えられる。
- 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」児童が全国平均より多く見られる一方で、「算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思う」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が全国平均より低い。日常生活に即した課題を提示するなどして、興味や関心を持たせる工夫が必要であると考ええる。
- 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える」児童や「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解する」児童の割合が低いので、算数の特性である、「早く、簡単に、正確に、どんな時も」できる公式の理解に心がけるとよいと考える。
- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書く児童の割合がやや高い。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

| 設問内容種別           | 本校の状況   | 本校<本校回答率/全国回答率>   |
|------------------|---|---|
| <p>【家庭生活の様子】</p> | <p>○自己肯定感が高い児童が多いが、失敗を怖がってチャレンジしない児童も多い。</p> <p>○テレビやビデオ等を2時間以上視聴する児童が多い。</p> <p>○携帯電話・スマホ等を持っている児童が少なく、2時間以上テレビゲームをする児童も少ない。</p> <p>○学校行事に参加する家庭が多い。</p> | <p>(6)「自分には、よいところがあると思いませんか」〈81.0 / 77.9〉</p> <p>(4)「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか」〈98.3 / 84.8〉</p> <p>(5)「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」〈75.8 / 77.4 県 82.4〉</p> <p>(12)「普段(月曜日から金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり聞いたりしていますか」</p> <p>3時間以上 〈48.3 / 32.7〉</p> <p>2時間以上 〈69.0 / 55.7〉</p> <p>(14)「普段(月曜日から金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」持っていない 〈25.9 / 36.7〉</p> <p>(15)「普段(月曜日から金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」2時間以上 〈25.8 / 31.1〉</p> <p>(28)「家の人は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか」</p> <p>よく来る 〈91.4 / 81.5〉</p> |
| <p>【家庭学習の様子】</p> | <p>○家庭学習に1時間以上取り組んでいる児童が多い。また、家庭で読書に取り組む児童も多く見られる。</p> <p>○家庭学習では、予習よりも復習に取り組んでいる児童が多い。</p>   | <p>(15)「学校の授業時間以外に、「普段(月曜日から金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」</p> <p>1時間以上 〈72.4 / 65.4〉</p> <p>2時間以上 〈32.7 / 28.1〉</p> <p>(18)「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、一日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」30分以上 〈44.8 / 36.5〉</p> <p>(31)「家で、学校の授業の予習をしていますか」</p> <p>どちらかといえば・している 〈44.8 / 41.0〉</p> <p>(32)「家で、学校の授業の復習をしていますか」</p> <p>どちらかといえば・している 〈67.3 / 53.8〉</p>   |

|                    |  |  |
|--------------------|--|--|
| <p>【学校での学習の様子】</p> | <p>○「甲府スタイルの授業」に取り組んでいると感じる児童が多い。</p> <p>○感想文や自分の考えを書くことが難しいと感じている児童が多い。</p> | <p>(63)「5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標〈めあて／ねらい〉とまとめを書いていたと思いますか」<br/>当てはまる〈77.6 / 68.9〉</p> <p>(65)「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」<br/>どちらかといえば・そう思う〈70.7 / 59.6〉</p> <p>(67)「学校の授業などで、自分の考えを他の人に話したり、文章に書いたりすることは難しいと感じますか」<br/>どちらかといえば・そう思う〈70.7 / 53.7〉</p> |
|--------------------|--|--|

### 本校の取り組み

#### ◎これまでの取り組み

- 週3回行っている朝学習については、一昨年度から全校体制で検討を行い、授業や家庭学習と関連させる中で、15分という短時間の活動をいかにしてより充実させていくかに取り組んできた。少しずつ定着しつつある。
- 各学年ごとに授業の改善を目指して研究を進めている。更に各自が取り組む研究教科以外にも、「甲府スタイルの授業」の実践を意識し、互いに情報の交換を行う中で指導力の向上を図っている。
- 「児童同士の学びあい」の成立を意図した授業内での意見交流場面を積極的に設定している。本調査におけるアンケートの結果から、話し合い活動に対する満足度や意欲が高い結果(7)(8)(9)(75)を見て取ることができ、成果を実感することができた。
- 全国学力学習状況調査の結果についての学習会を校内研究の時間を利用して行い、いかにして授業に反映させていくかを全職員で検討し、実践している。

#### ◎これからの取り組み

- 上記の取り組みを今後も継続し、更に確かな形にして児童に還元していきたい。
- 学力・学習状況調査の結果から本校の児童がやや苦手としていると思われる国語や算数の知識を問う問題について改善を図るため、定期的に過去に学習した内容の復習を行うなどの手立てを行っていきたい。
- ノートの取り方については、担任各自がそれぞれの方法で指導をしているところであるが、今後はめあてやまとめを意識した「甲府スタイルの授業」を取り入れ、より効果的な手法を実践し、相互に共有できる機会を設けていきたい。
- 日常の学校の様子を広く保護者、地域の方に公開する行事や学校開放を積極的に行い、たくさんの保護者の参加をいただいている。その際いただいた意見を日々の教育に生かしていきたい。